

「ししおどし」

『ししおどしの由来』

「しし」は鹿やイノシシを意味し、もともとは田畑を荒らす動物たちを音で驚かして追い払うための仕掛けとして作られました。

「おすすめ」

ししおどしの「こん！」という音は「癒し」になるそうです。リラックス効果があるので水の流れる音を聞いていると落ち着つくらしいです。音を聞きながら周りを探索してもいいと思います！



「ししおどしの仕組み」

1、水がたまる

流れてきた水が、つつの中に入っていきます。

2、つつが傾く

水がたくさんたまると、水の重みでつつがゆっくりと傾きます。そして、中の水が全部流れ出します。

3、石に当たり音が鳴る

水がなくなって軽くなったつつは、勢いよく元の場所に戻ろうと動きます。そのとき、つつの先っぽが下の石に「こん！」と当たって、大きな音が鳴るのです。これが何回もくり返されます。

ぜひ、「こん！」という竹の音と水の流れる音を聞いてみて下さい！